

～私が考える「甲斐の家」～

概念

1732年「甲州噺」に山梨県が諸国と異なって切り妻であったと記されている。
この建物はその頃の雰囲気を感じさせ「甲斐の国」の
原風景となりえるのではないだろうか。
明治時代は特に養蚕が盛んになって屋根が大きく発達した。

茶の間にはみんなが集まってくる。
お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん
木や畳、土の香り、風、光みんなが集まってくる。

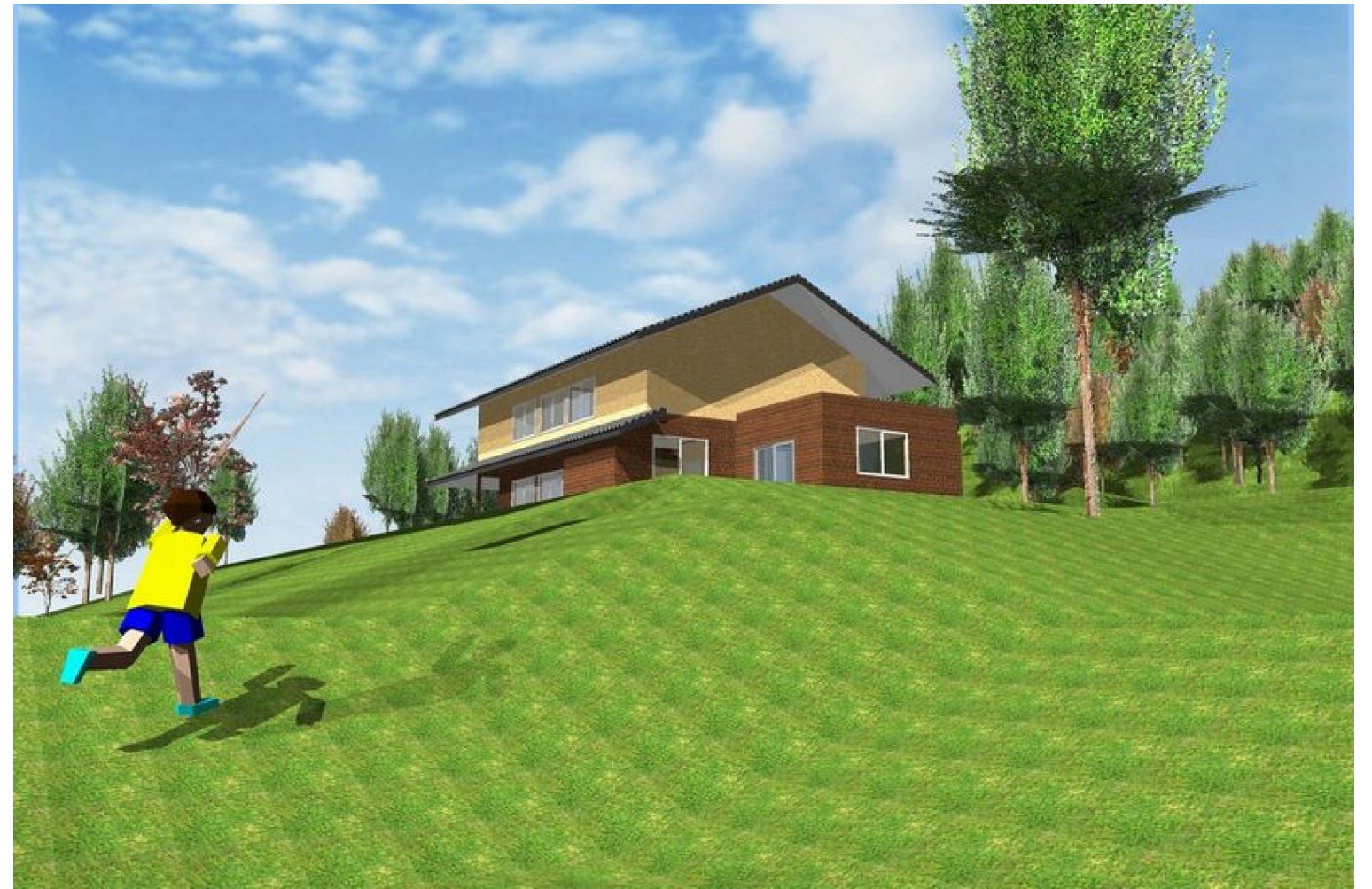
風や光、香りはみんなを健康にしてくれる。みんなを守ってくれる。

広めの台所は土間に続いていて、外から自由に入ることが出来る。泥まみれぼくも
泥だらけになった野菜や果物、山菜達もみんな一緒に入ることが出来る。

みんなで料理してみんなで食べる。それが僕たちの約束だ。

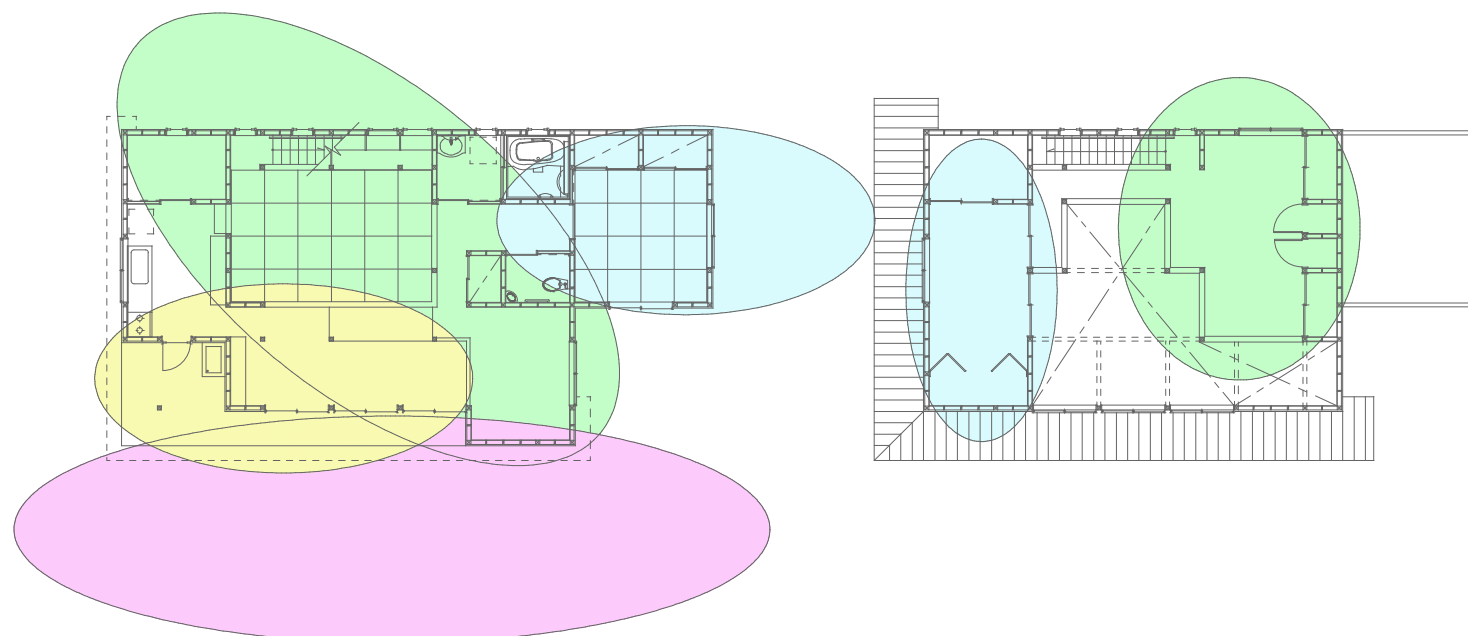
格式ばった玄関もなく、いろいろな人達や自然たちが気軽にはいってこれる。

これが僕の「うち」です。



外観イメージパース

空間概念図



- 個人領域
- 家族領域
- 中間領域
- 外部領域

建築概要

木造在来工法	2階建て
建築面積	108.22㎡
1階床面積	100.2㎡
2階床面積	48.03㎡
延床面積	148.23㎡